

【提案者】

団体名：合同会社カミヤツラボ
代表者名：寺田 俊介

【団体紹介】

元地域おこし協力隊と地域住民が共同で立ち上げた法人です。これまで地域で産業を起こしても自治会長が変わると継続が難しかったり、事業の成長が見込まれないことが地域課題でした。その解決方法の一つとして地域商社的な立ち位置で持続可能な地域作りとしていく会社です。移住定住事業、ホンモロコの加工品販売、お試し住宅の運営などを行っています。

【事業名】

食と人を通じた移住定住促進のまちづくり

【事業の目的】

都市部の20代、30代、60代をターゲットに地域の食、農業、生活体験や住民との交流を通じて地域を知ってもらう事で、将来的な移住促進につなげることを目的とする

【事業の実施】

- ・日時：2月17日
- ・場所：QUESTION（京都市）
- ・内容：上宮津キッチン
- ・講師：杉岡准教授（福知山公立大学）、地域住民5名

【成果】

滋賀や大阪からの参加、上宮津出身だが現在は京都市内在住の方が友人を引き連れて地域を紹介していただいたり、初めて上宮津を知った方も多く、目的の一つでもあった「まずは知ってもらう」というところに関しては達成できたと感じている。

【今後に向けた課題】

イベントに参加していただいた方との繋がりをどう深掘りしていくか。
気軽に来れると思ってもらえるイベントや情報発信の強化。

【今後の展望】

お母さん方の負担も考慮しながらの開催にはなるが、年に数回、都市部での開催も検討していけるようになった。

女性陣がメインとなるイベントが初めてだったが、普段とは違った層と繋がることのできたので、女性をターゲットとしたイベントも企画していきたい。



【「関係人口創出プログラム」を活用した感想】

普段、地域の予算では使用が難しい場所での開催が出来たことで新たな関係人口を創出できたことは地域にとって非常にプラスになりました。また地域の人や文化を初めて都市部に持っていくことができ、地域の人たちにとっても大きな自信に繋がったと思います。移住体験事業を本格的に展開していく足がかりになり、大変感謝しております。